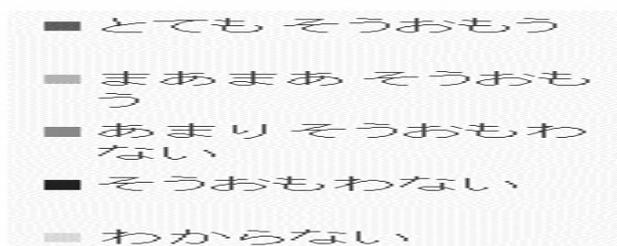
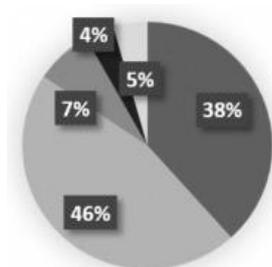


令和5年度 浦安市立見明川小学校学校評価結果

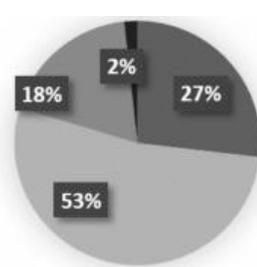


1. 児童は進んで挨拶をしている。
 (児童：進んであいさつをしている。)

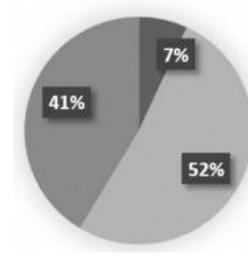
児童回答



保護者回答



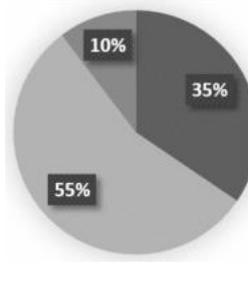
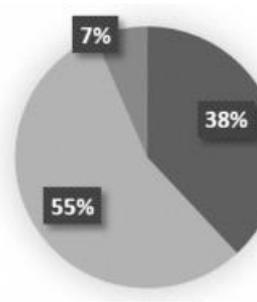
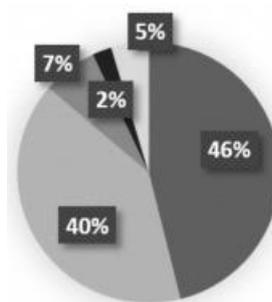
職員回答



※肯定的な意見の割合・・・ 84% 80% 59%

○ 児童自身は、挨拶ができていると思っていますが、保護者、職員としては、不十分と思っている人も多いです。

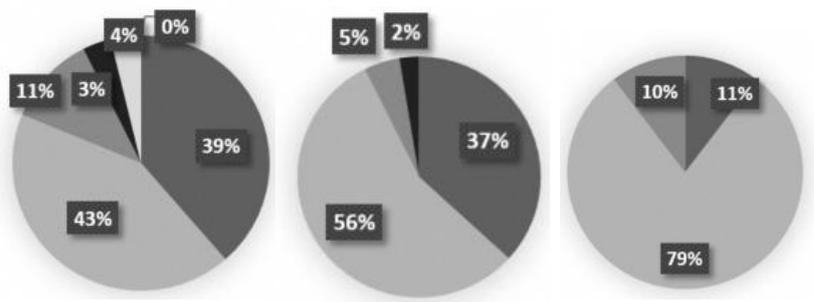
2. 学校は、児童に感謝の心と思いやりの心を育てている。
 (児童：友だちを助けたり、「ありがとう」を伝えたりしている。)



※肯定的な意見の割合・・・ 86% 93% 90%

○ 意識して、しっかりとできていると考えられます。

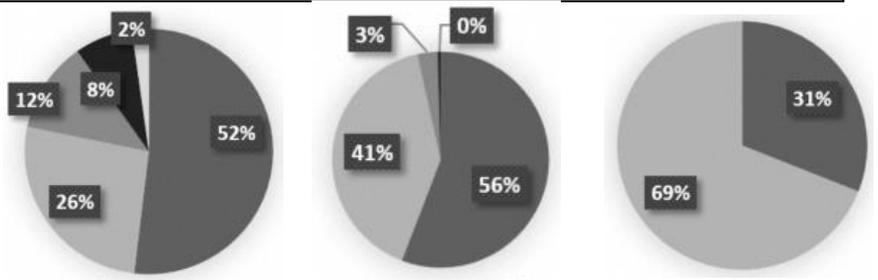
3. 学校は児童に困難に立ち向かう心を育てている。
 (児童：どんなことにも頑張っている。)



※肯定的な意見の割合・・・ 82% 93% 90%

○ 児童と教師の間で肯定的な意見の割合に少し開きがあります。教師は、課題を設定して児童に取り組ませて成果を得ていますが、児童自身は、今一つ力が入っていない課題もあるということと考えられます。今後は、児童のモチベーションに一層留意した指導を行っていくことが大切と考えます。

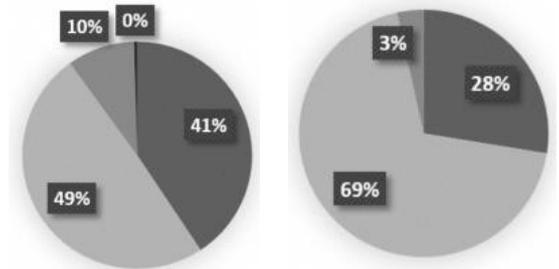
4. 学校は、児童に体力の向上を図る機会の確保とともに、心身ともに健康的な学校生活を送らせている。
 (児童：体育や休み時間に元気に運動している。)



※肯定的な意見の割合・・・ 78% 97% 100%

○ 学校としては、様々な取り組みで児童の心身の健康増進を図っており、保護者もよく理解していますが、児童自身は、「いつも元気に運動している」という自覚でないという児童もいます。今後は、児童自身にも意識して運動する機会を増やしていくことが大切と考えます。

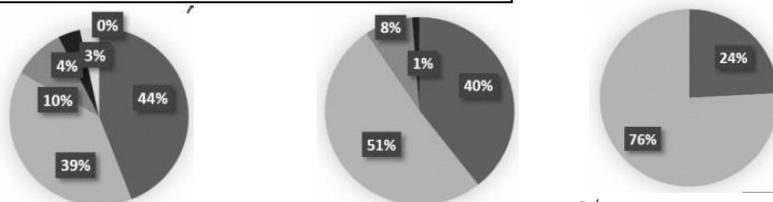
5. 学校は児童に考える時間等を意図的に作り、思考力、判断力、表現力を育てている。



※肯定的な意見の割合・・・ 90% 97%

○ 学校では、日々の指導の中で、児童に考える力の育成を図っています。継続して取り組んでいきます。

6. 学校は、児童に主体的に取り組む態度を育てている。
(児童：学校の勉強や行事などにすすんでとりこんでいる。)



※肯定的な意見の割合・・・

91%

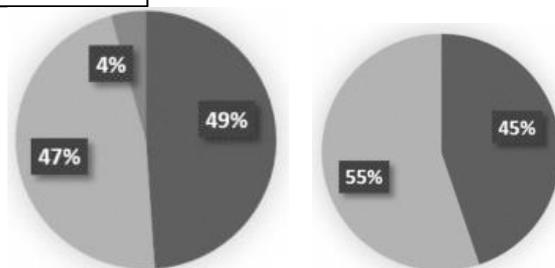
100%

8

3%

○ 保護者と教師は、児童の主体的な態度を評価していますが、児童自身はもう少しというところです。全ての児童が全ての行事、学習に主体的に取り組むことは難しいですが、児童がより主体的に取り組んでいくことが大事であると考えます。

7. 学校は児童の、学習の基礎基本の定着に努力している。



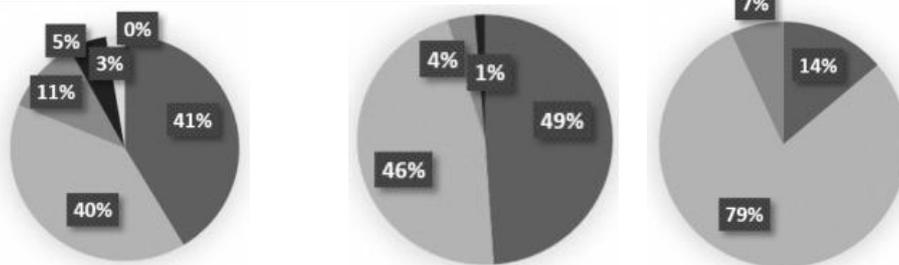
※肯定的な意見の割合・・・

96%

100%

○ 教師の努力を保護者が理解してくれているという結果です。大変ありがたいです。これからも保護者の理解と協力をいただきながら、児童一人ひとりの学習に向き合っていきましょう。

8. 授業は児童にとってわかりやすいものとなっている。
(児童：学校で勉強していることがわかる。)



※肯定的な意見の割合・・・

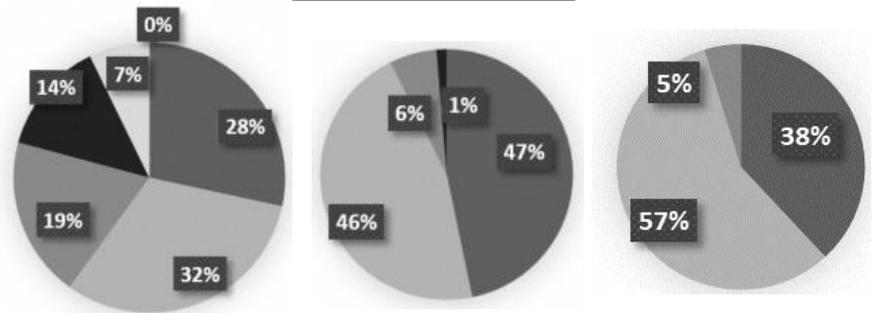
81%

95%

93%

○ 「わかりやすい」と児童が感じられるよう、実態にあった指導を行い、今後も学習を支援していきます。

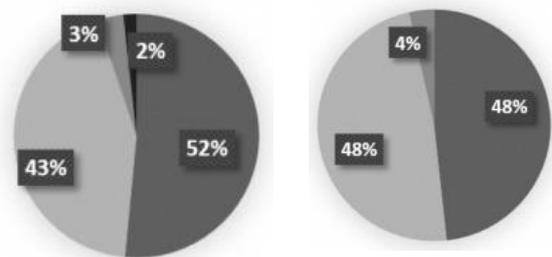
9. 学校は児童や保護者の悩み、相談などに十分な対応をしている。
 (児童：困ったら先生に相談や話をしている。)



※肯定的な意見の割合・・・ 60% 93% 95%

○ 教師は、児童と話をしている意識を持っていますが、児童からすると、3分の1の児童が十分ではないという意識、または、悩みや相談は先生ではなく他の人と話しているということです。児童の身近な存在の保護者もだいたい肯定的に捉えてくださっていますので、ここでは先生が聞いてくれないというよりは、児童の相談先は、保護者やスクールライフカウンセラーなど様々な人に聞いてもらっているか、自分で解決しようとしているものと見られます。

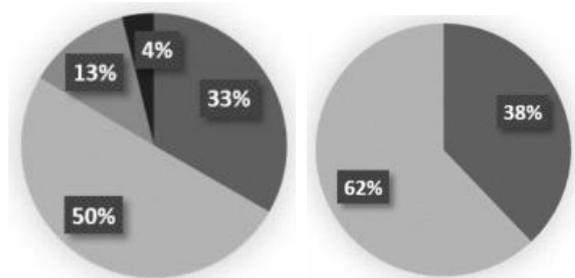
10. 学校は教育活動において児童の人権を尊重して指導に当たっている。



※肯定的な意見の割合・・・ 95% 96%

○ おおむね良好な状況ですが、わずかに心配なさっている方もいます。様々な啓発活動を通して一層の人権意識の向上を図って参ります。

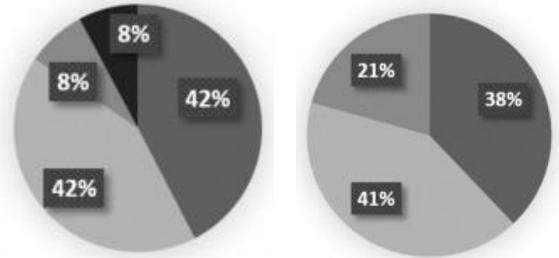
11. 学校は児童の実態に合った個別の教育活動をしている。



※肯定的な意見の割合・・・ 83% 100%

○ 教師と保護者で同様の傾向を示しています。個別指導のニーズがはっきりしていて、個別指導に一層の力を入れています。

12. 新しい学習活動（外国語、道徳科、タブレット、5時間授業日の設定）について効果的に行われている。



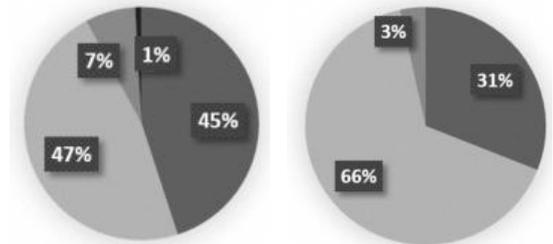
※肯定的な意見の割合・・・

84%

79%

- こちらも教師と保護者で同様の傾向を示しています。学校では、さらに効果的な実践とその報告が必要です。

13. 学校の施設、設備などの学習環境は、満足できるものになっている。また、安全面で配慮されている。



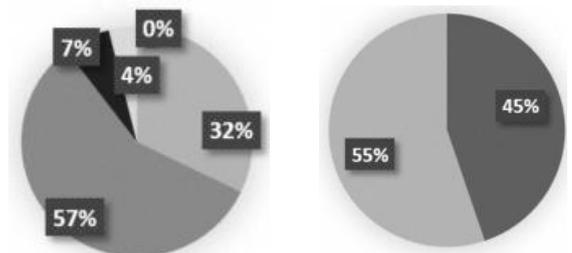
※肯定的な意見の割合・・・

92%

97%

- 安全面については毎月安全点検をしておりますが、新たな施設設備が必要と感じているものと思われます。来年度予算の使途に反映させていただきます。

14. いじめをうまない努力やいじめ解消のための早期対応ができています。



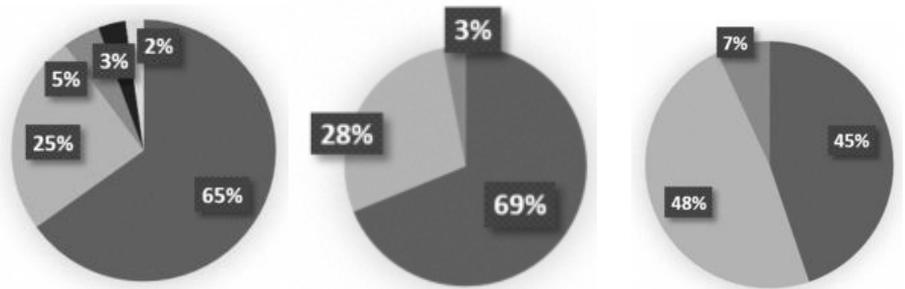
※肯定的な意見の割合・・・

89%

100%

- 教師は十分に行っているつもりでも保護者からはもう一歩というところがあるようです。些細なことでも子どもの様子を良く見ることと同時に、面談や保護者会での保護者からの意見に耳を傾けることを行って参ります。

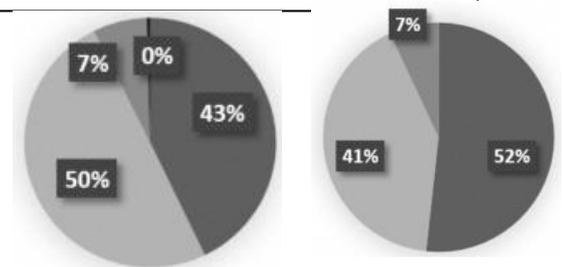
15. 学年、学校行事（校外学習、運動会等）は児童にとって楽しく、有意義なものになっている（児童：学校の行事は楽しい。）



※肯定的な意見の割合・・・ 90% 97% 93%

- 児童からは楽しいという意見が多く寄せられましたが、さらに充実した有意義なものとして児童の意識を高めるために、今後は、さらに児童自らが考えて進めた、と思えるような取り組みをしていくことをめざします。

16. 学校だよりやホームページなどを通して、教育活動に関する情報を伝えている。



※肯定的な意見の割合・・・ 93% 93%

- 保護者よりも教師において情報の伝達が不十分であるという意見があります。教育活動に関する情報は生徒指導、児童の様子など多岐にわたります。これらをバランスよく、タイムリーに伝えることが大切と考えます。